



# たすけあう やさしいハート まちじゅうに

赤い羽根共同募金運動はじまる 10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するため「社会福祉法」に位置づけられ、毎年10月1日から12月31日までの間、全国一斉に展開されています。  
この募金は、市内の全小・中学校での児童・生徒への福祉教育などの取り組みや各地域の福祉会、障がい児・者への福祉事業に使われています。今年もみなさんのご理解とご協力をお願いします。

令和6年10月号

発行  
社会福祉法人  
宗像市社会福祉協議会

〒811-3437 宗像市久原180  
メイトム宗像2階  
TEL 0940-37-1300



**たすけあいの心**

日本で共同募金運動が始まり、今年で78年目になります。この間、社会経済状況も急激な変化をみせ、人々の生活や意識も変わってきました。このような時でも人々がともに生きていくことという「たすけあいの心」は変わらずに、人々の幸せを願って、今年も共同募金運動が始まります。

**令和5年度の募金実績額は、1,009万1,557円**

自治会や町内会など地域住民のみなさんの協力を得て各世帯にお願いする「戸別募金」をはじめ、市役所、学校、福祉団体を対象にクオカードなどの資料を活用する職域募金、学校や病院、公共施設、事業所などでの募金箱による募金などいろいろな方法でお願いしています。

令和5年度、みなさんのご協力で1,009万1,557円の募金が集まりました。ありがとうございます。

**令和5年度 募金の使いみち**

昨年度に市内で集まった募金は、全て福岡県共同募金会へ送金し、配分委員会などの審査の後、市社会福祉協議会を含む各申請団体などに配分されました。昨年度に集まった募金は、令和5年度共同募金の使いみち（表1）のように有効に活用されています。共同募金は、募金をした地域で生きる寄付金です。

**一世帯700円の目安額**

市全体の目標額を達成するために、「一世帯ではどれだけの金額を協力したらいいのかわからない」ということが分かっていくため、「一世帯700円を目安に協力していただく」と計画されている事業が実施できます」と目安額をお知らせすることになっています。

これは、募金目標額を達成するためにお願いする「目安」ですので、みなさんのできる範囲内のご協力をお願いします。

## 令和5年度 共同募金の主な使いみち（表1）

昨年度集まった、みなさんからの募金は下記のような活動に活用されています。赤い羽根共同募金は、みなさんのあたたかな気持ちを、具体的な活動につなげていく、「じぶんの町を良くするしくみ」です。これからもご理解とご協力をお願いいたします。

宗像市内で活用したもの	金額
<b>高齢者の福祉に</b> ●在宅介護者家族の会の支援 ●シニアクラブ連合会への助成金 ●配食サービスボランティアの支援	840,000円
<b>障がい児・者の福祉に</b> ●身体障害者福祉協会の支援 ●あじさいの会への助成金 ●手話講習会への助成金 ●あゆみの会への助成金 ●声の広報配布事業の支援 ●要約筆記ボランティアの支援 ●おもちゃ図書館運営の支援 ●宗像コスモス会への助成金	1,557,000円
<b>ボランティア活動に</b> ●福祉ボランティア活動連絡協議会活動の支援 ●大島地区ボランティア団体への助成金	534,000円
<b>福祉会活動の支援に</b> ●地域住民の自主的な地域福祉活動 ●民生委員児童委員協議会への助成金	2,656,000円
<b>児童・青少年の福祉に</b> ●市内幼稚園、保育園、小中学校、高校への福祉教育推進事業 ●小学校での車いす体験や手話体験などの福祉教育事業	262,000円
<b>子育て支援活動に</b> ●地域福祉文庫連絡協議会の支援 ●NPO法人むなかた子育てネットワークこねっとへの助成金 ●母子寡婦福祉会の支援	215,000円
<b>県内広域で活用したもの</b>	金額
その他、県内の福祉施設への支援、災害ボランティア活動、福祉に関する情報提供や啓発活動など	4,027,557円

**多くの人に支えられている共同募金**

「共同募金実績額内訳表」をみると、戸別募金各世帯からの募金（共同募金全体の約9割）を占め、市内の多くの世帯からの募金に支えられています。

また、地域のいろいろな場面で、自治会長や隣組長、事業所や公共施設、福祉団体、学校の先生や児童、生徒のみなさんからの多くの支えで成り立っています。ひとりひとりのたすけあいの心が、地域福祉活動に活用され、より住みよい地域をつくっていく原動力となります。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

**災害等準備金の積み立て**

県共同募金会では毎年、県内のための災害等準備金を積み立てています。近年は災害も多く発生し、災害ボランティアセンターが開設される機会も増えています。この際に災害等準備金が活用され、災害ボランティアセンターの運営を支えました。毎年、みなさんからご協力いただいている赤い羽根共同募金が災害ボランティア活動も支えています。

## 令和5年度 共同募金実績内訳表（表2）



